

## ○ 住民による支え合い活動としての買い物支援の取組（いわき市四倉）

### 背景

- ・新町地区は、かつては住民の多くが漁業関係者であったため、漁業の衰退に伴い、若者の働く場が失われ、若者の地域離れが進んだ結果、四倉地区で高齢化率が特に高い地区となっていた。
- ・平成22年2月のチリ地震津波の際に、地区の避難率が非常に低かったことに危機感を覚え、平成23年から住民が中心となって高齢者見守り隊を結成し、要支援者の避難訓練を行うなど、見守り活動を行っていた。

### 活動の経過

- 平成23年1月 高齢者見守り隊を結成し、見守り活動実施。
- 平成27年5月 市の住民支え合い活動づくりモデル事業のモデル地区に応募し、新町地区協議体（愛称：笑顔の会）設立。

#### 【モデル事業での取組】

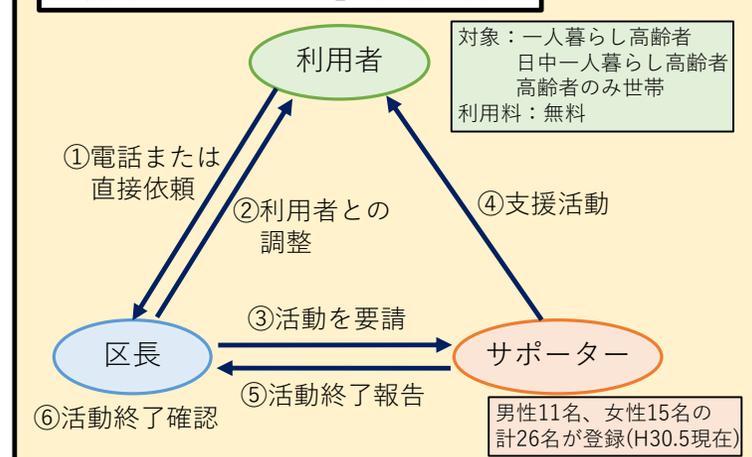
- ①社会資源の把握（H27.7）
- ②対象者の確認（H27.8）
- ③生活支援ニーズ聞き取り調査（H27.8～9）
- ④支援内容についての検討（H27.9～）
- ⑤支え合いサポーターの募集（H27.12～）
- ⑥支え合いサポーター研修会・連絡会実施（H27.12～随時開催）

- 平成29年4月 2年間のモデル期間終了後、いわき市社会福祉協議会の「住民支え合い事業」へ移行。

### 取組内容

- ・主に一人暮らし高齢者・日中一人暮らし高齢者・高齢者のみ世帯を対象として、住民が主体となって、掃除、ゴミ出し、買い物等の日常生活の困りごとについて支援を実施。
- ・利用者は、電話等で区長に支援を依頼し、区長は事前に登録しているサポーターに支援を要請。サポーターは活動実施後、区長に報告を行うという流れ。
- ・会の運営に係る役員等の活動やサポーターによる支援活動などは、ボランティア活動として実施されているが、「いわき市いきいきシニアボランティアポイント事業」を活用し、楽しくボランティア活動に取り組めるように工夫している。
- ・これまで、買い物代行や買い物の付き添いなどの活動も行っており、今後、買い物支援のニーズが高まると考えているが、ボランティア保険の関係で、サポーターによる車での送迎ができないなど、課題もある。

### 「新町サポーターズ」活動の流れ



【ゴミ出し支援の様子】



【服薬支援の様子】